

第 198 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 30 年 6 月 12 日(火) 開催 会場: 岩崎学園 (新横浜 1 号館 8 階)】

1. 株式会社プラントライフシステムズ 代表者 松岡 孝幸 氏 (<http://plantlife.jp/>)【住所】神奈川県横浜市港北区新横浜 3-24-5 新横浜ユニオンビル ANNEX5 階【設立】2014 年 10 月
【資本金】409,000 千円

【事業概要】作物生体のアルゴリズム化。AI を用いての生産者への効率化をはかるシステム開発・販売。本年度は新規作物としてメロンの生産性 5 倍とお茶やマンゴーの基礎開発を行う。4 つの事業モデル(①新規就農、②既存事業にプラス、③新規事業、④既存農家)を主体にアプローチを変化させての導入を図る。今後は流通業界とのシステムの融和も図り、出口のデジタル化も見据える。

【コメント】作物の品質を向上し、高付加価値作物の収穫量を向上するには、両方を確立する AI とテクノロジーが必要。また今まで植物全体を生育には向かないアルカリの培地を用いて、AI を利用した徹底的な水のコントロールを行うことで今まで劇的に変えることが出来なかった農業に新しい革命を起こすことが出来るようになりました。

2. 株式会社 C&V テクニクス 代表者 鶴飼 勝三 氏 (<http://www.c-vtechnix.com/>)

【住所】東京都立川市富士見町 5-3-17【設立】2012 年 6 月【資本金】1,000 千円

【事業概要】弊社は 2012 年 6 月発足した会社です。これまで 30 年間半導体電子部品分野で活躍したメンバーが、長年培ってきた真空技術と分析技術をコア技術とした創造と価値を生み出すエンジニア集団の会社です。5 年、10 年先のあるべき姿を求め、真空機器と分析機器事業を基盤とした会社を目指しております。

事業は、以下の 3 事業を展開しております。

1)「ポータブル IAMS」を自社ブランドとする分析機器事業

平成 25 年ものづくり補助金助成事業の支援を受けて開発したイオン付着型質量分析技術を用いた、オンサイトで瞬時に有機系物質の検出・測定ができる可搬型質量分析機器です。特色として、前処理なしに大気中に存在する多種多様な物質を即座に検出する事ができます。近年、非侵襲の病症診断方法として呼気分析法が注目されています。本製品はこのニーズに応え得る製品であることから医療用非侵襲診断装置として、世界市場を目指すと共に呼気分析法のデファクトスタンダードを目指す。注)IAMS とはイオン付着質量分析(Ion Attachment Mass Spectroscopy)の英語表記による

2)真空成膜装置事業

弊社の設立時の事業で、真空状態で金属等の薄膜を形成する成膜装置です。1000mm 幅の銅箔に高精細な多層薄膜を連続的に形成できるロールコーターを単層融合新材料研究開発機構(産総研内)にその 1 号機を納入致しました。この装置をベースに現在進められている Li イオン電池の全固体化二次電池市場や、常温超伝導市場での世界市場を目指す。

3)真空・プラズマ・低温・分析関係コンサルタント事業

真空技術、低温技術と分析技術に関するコンサルティング事業です。日本の真空機器業界は極高真空領域において世界水準から 20 年立ち遅れている。このため、自らこの領域においての先駆者となるべく啓蒙活動と実証活動を進めていく。一方、ポータブル IAMS も認知度も低く啓蒙・実証活動が必要なのでコンサルタント事業を普及活動の布石としている。

【コメント】同社は将来的に更なる成長が期待される医療分野への参入を希望しておられました。しかし当面は呼気分析や新生児健康管理などの分野に絞り込みをかけていくそうです。将来的には株式上場も視野に入れておられました。

3. シンクランド株式会社 代表者 宮地 邦男 氏 (<https://think-lands.co.jp/>)【住所】神奈川県横浜市鶴見区小野町 75-1 リーディングベンチャープラザ 1 号館 502 号室【設立】2014 年 2 月
【資本金】114,500 千円

【事業概要】当社は 2014 年 2 月創業の今季 5 期目を迎えております開発型ものづくりベンチャー企業です。現在特に注力しているのは千葉大学と北海道大学で共願した基本特許を当社が両大学から独占実施権を受けた光渦レーザー微細加工技術を用いて製作した中空型マイクロノードルの事業化を目指しております。特に着目している分野としては高機能型スキンケア化粧品用途や無痛注射針としての医療用途で各々具現化を目指して進めております。今後は国内外におけるまずは化粧品市場へ当社製品の投入を目指しており、ここ 1 ヶ月以内に複数件具体的な共同研究契約を締結していく予定です。

【コメント】宮地社長の想いは全ての患者が感じる注射による痛みと産業処理不要な世の中を創造したいということでした。他社製品との優位性としては、①産廃が容易(生体吸収)、②適量注入が可能(中空化)、③リアル無痛針(< Φ100μm)の 3 点です。

4. 株式会社ネイン 代表者 山本 健太郎 氏 (<http://www.nain.jp/ja/>)

【住所】東京都渋谷区渋谷 2-9-10 青山台ビル 902【設立】2014 年 11 月【資本金】4,063 千円

【事業概要】ネインはヒアラブル製品の企画、開発、販売事業、ヒアラブルソフトの受託開発をしています。私たちは歩きスマホに代表されるスマホ依存の社会問題をインターネットをスクリーンから解放するモバイル音声アシスタントサービスを提供するヒアラブルによって解決します。その第一歩として音声通知の圧倒的な使いやすさにこだわった商品を開発しました。2016 年 9 月に世界発音声通知ワイヤレスイヤフォン「APlay」を発売。その後、MCJ、オンキヨーから資金調達をし、2018 年 4 月に世界発 iOS にも対応した音声通知ワイヤレスイヤフォン「Zeeny」を発表。さらに、国内大手オーディオ企業のヒアラブル開発をサポート。

【コメント】同社の社名の由来は Network・AI・Note=Nain だそうです。ヒアラブル市場は 2020 年には約 5 兆円市場になると見込まれております。通常のイヤホンは音を選択することは出来ませんが、当製品は自分らしく選択出来る点が良い点ではないでしょうか。



《感想》今回の発表会後には発表企業同士がコラボレーション出来ないかと模索されておりました。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 199 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時:平成 30 年 7 月 10 日(火) 13:30~16:00

■会場:学校法人岩崎学園 新横浜 1 号館 8 階

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナース
(株)TNP オンザロード

井汲 美樹